

第5学年道徳科学習指導案

日 時 令和〇年 〇月 〇日 (〇)

指導者 〇 〇 〇 〇

1 主題名

謙虚な心で相手の立場や意見を尊重すること「B－(11) 相互理解, 寛容」

2 ねらいと教材

(1) ねらい

謙虚な心で、相手の意見や立場を尊重しようとする道徳的態度を育てる。

(2) 教材名

「ブランコ乗りとピエロ」(文部科学省 私たちの道徳 五・六年)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方

人の考えや意見は多様であり、それが豊かな社会をつくる原動力にもなる。そのためには、多様さを相互に認め合い理解しながら高め合う関係を築くことが不可欠である。自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、自分とは異なる意見や立場も広い心で受け止めて相手への理解を深めることで、自らを高めていくことができる。異なった意見や立場を持つもの同士が互いに尊重し、広がりや深まりのある人間関係を築くためにも欠かせないことである。また、寛大な心を持って他人の過ちを許すことができるのは、自分も過ちを犯すことがあるからと自覚しているからであり、自分に対して謙虚であるからこそ他人に対して寛容になることができる。このように、寛容さと謙虚さが一体のものになったときに、広い心が生まれ、それは人間関係を潤滑にするものとなる。

いじめの未然防止に努めるとともに、いじめを生まない雰囲気や環境を醸成するためにも、互いの違いを認め合い理解しながら、自分と同じように他者を尊重する態度を育てることが大切である。

(2) 児童のこれまでの学習状況や実態と教師の願い

本学級の児童は、これまでの学校生活を通して、授業中、発表する人がどのような気持ちで話しているのかを聞く姿勢はできている。しかし、班で話し合う場面では、自分の考えを主張し、相手の考えを受け入れず、また一方的に相手の意見を否定してしまう児童や、考えを譲って我慢したり自分は関係ないという態度をとったりする児童もおり、互いの考えを尊重する態度が育っていない。

児童の実態を踏まえると「相互理解, 寛容」という道徳的価値について、自分の立場を守るために、つい他人の失敗や過ちを一方的に非難したり、自分と異なる意見や立場を受け入れようとしなかったりするなど、自己本位に陥りやすい弱さを持っている問題があると考えられる。

そこで、自分自身が成長の途上にあり、至らなさを持っていることや、自分を謙虚に見詰めることについて考えさせることを通して、相手から学ぶ姿勢を常に持ち、自分と異なる意見や立場を受け止めることや、広い心で相手の過ちを許す心情や態度を育てていきたい。

(3) 使用する教材の特質やそれを生かす具体的な活用方法

サーカス団をまとめるリーダーのピエロと花形スターのサムは、一時間という制限で大王にサーカスの演技を見てもらうことになった。日頃から、ピエロはサムのわがままな言動に腹を立てていた。当日、サムの演技が延長し、ピエロは大王の前で演技ができなかった。しかし、ピエロは演技後に疲れ切った様子を見て、自分にも足りないところがあったことや、サムから学ぶべきところがあったことに気づき、考えを変えていくのである。

本時の指導に当たっては、授業当日の朝、児童に教材を読ませておき、内容を理解させておくことで、授業中の考える時間を確保する。授業では、カーテンの隙間からサムを見つめるピエロの気持ちを自分との関わりで考えさせる。また、多面的・多角的に考えさせるために、サム、観客の気持ちも考えさせる。中心場面では、ピエロがサムを憎む気持ちが消えたのはどうしてかと考えさせることを通して、謙虚な心で相手の立場や考えを尊重することの大切さに気付かせたい。

4 学習指導過程

	<p style="text-align: center;">学習活動</p> <p style="text-align: center;">○主な発問 (◎中心発問)・予想される反応</p>	<p style="text-align: center;">指導上の留意点</p>
<p>導入 5分</p>	<p>1 本時のねらいとする道徳的価値について問題意識を持つ。</p> <p>○ これまで、学校生活で、友達と意見や考えが違って困ったことはありませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班で話し合うとき ・遊びを決めるとき <p>○ 自分の考えと友達の考え、大切にしたいのはどちらですか。</p> <p style="text-align: right;">(問) →</p> <p>2 課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>相手の立場や意見を尊重することについて考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいとする道徳的価値についての実態を再確認するために、これまで意見や考えが違って困った場面を想起させ、自分の考えと友達の考えどちらを大切にしたいのか考えさせる。 ・児童に選択させてから、どちらかが正しいのではなく、これから違う考えの人と出会ったときに、自分の考えを大切にしながら、相手の立場や意見を尊重するには、どうしたらよいか一緒に考えていくことを確認する。
<p>展開 32分</p>	<p>3 相手の立場や意見を尊重することについて自己を見つめ、多面的・多角的に考える。</p> <p>○ カーテンの隙間からサムを見詰めるピエロは、どのような気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・怒りがこみ上げ、腹が立つ。 ・また、勝手なことをやって、憎らしい。 ・どうして、言うことを聞いてくれないんだ。 ・自分の出番がなくなる。悔しい。 ・自分も目立ちたい。 <p>(自) →</p> <p>○ 大王に演技を見せる前のサムは、どのような気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活躍して、目立ちたい。 ・いい演技をしなければというプレッシャーを感じている。 ・サーカスのために夢中になって演技した。 <p>(多) →</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が、教材の内容をより理解できるようにするために、範読前にキーワードを使って、教材の内容を確認する。 ・リーダーであるピエロとスターであるサムの立場を確認してから、範読を聞く際にピエロのサムに対する考えがどのように変化したのかを考えながら聞くという視点を与える。 ・ピエロが、サムの行動に対して腹を立てている状況に共感させるために、カーテンの隙間からサムを見詰めるピエロの心情について考えさせる。 ・自分も目立ちたいというピエロの思いに気付かせるための問い返しの発問を準備する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・ピエロは、サーカス団のためだけを考えていますか。</p> </div> <p>→ サムの心情を考えさせることで、サーカス団のために頑張っていたということに気付かせる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・サムは、自分のことだけを考えていましたか。</p> </div>

- 観客は、サム演技を見てどのように思っていますか。
- ・いい演技を見ることができるのは、うれしい。
- ・もっと、見たい。

◎ どうして、サムを憎む気持ちがピエロの心から消えたのでしょうか。

- ・サムは、スターとしてサーカス団のために頑張った。
- ・サムの演技が素晴らしかった。
- ・サムの気持ちを考えないで、態度だけを見て悪者にしていた。
- ・ピエロは自分も目立ちたかったという気持ちに気付いた。
- ・サムだけを責めていたけれど、自分にも足りないところがあった。
- ・これからは、サムを見習って自分ももっと本気で頑張ろう。
- ・きっと、サムは見えないところでとても努力をしていたと思うので、かなわないなと思った。

- ピエロの言葉にサムは、どのように思いましたか。
- ・自分も悪かった。
- ・これからは、態度を改めよう。
- ・自分のことを認めてもらえてうれしい。

- 話し合った二人は、どのようなことを思っているのでしょうか。
- ・お互いの考えを受け入れて、もっとよいサーカス団を作ろう。

- ・サム演技を見て、観客はどのように思っているのか考えさせる。

- ・決められた時間通りに、サムは演技を交代していたら、このように、観客は楽しむことができたのだろうか。

- ・ピエロのサムに対する気持ちの変容を考えさせることで、謙虚な心で、相手の立場や考えを尊重することの大切さに気付かせる。
- ・「サムが頑張ったから」という表面的な態度ではなく、サムの努力やピエロにも足りないことがあったことに気付かせるために問い返しの発問を準備する。

- ・頑張っていたり、素晴らしかったりしたら、憎む心は消えますか。自分だったらどうですか。では、どうして、憎む心が消えたんだろう。

- ・自分も目立ちたかったと気付いただけで、サムのごことは許せますか。

- ・ピエロが、サムをお手本にしようと思ったのはどうしてですか。

- ・サムピエロに対する気持ちの変容を考えさせることで、認められると相手の受け止め方も変わることに気付かせる。

- ・謙虚な心で、相手の意見や立場を尊重しようとする事のよさに気付かせる。

自

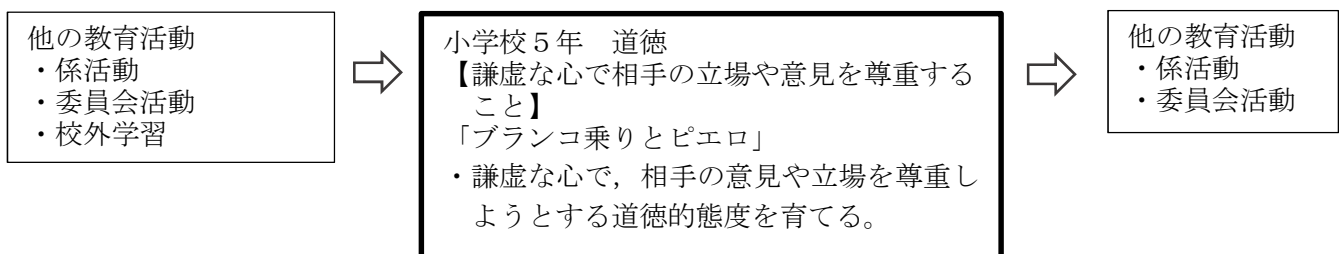
多

	<ul style="list-style-type: none"> ・違いは、更にいいものを作るチャンスなんだ。 ・相手だけを責めず、自分にも足りないところがあると認め、お互いのことを分かり合おう。 	
終末8分	<p>4 自己の生き方について考える。</p> <p>○ 相手の立場や意見を尊重することについて、分かったこと、友達の考えを聞いていいなと思ったこと、これからの生活に生かしていきたいことについて書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの意見を大切にすることが分かり、今まで相手のことを考えずに自分の意見を押し通していたけれど、友達の考えも受け入れれば、もっといいものができると思いました。 ・今までは、相手の考えに合わせていたけれど、違う考えも大事だということが分かったので、これからは、自分の考えを伝えたり、相手の考えを受け止めたりして、どうすることが一番よいのか考えていきたいです。 	<p>生 →</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の生き方について考えを深めさせるために、書く活動を取り入れる。 ・自己の考えの深まりや変化に気付かせるために、導入時の自分の考えと比較する視点を与える。

【評価】

相手の立場や意見を尊重することについて、多面的・多角的に考える学習を通して、これからの生き方に生かそうとしていたか。

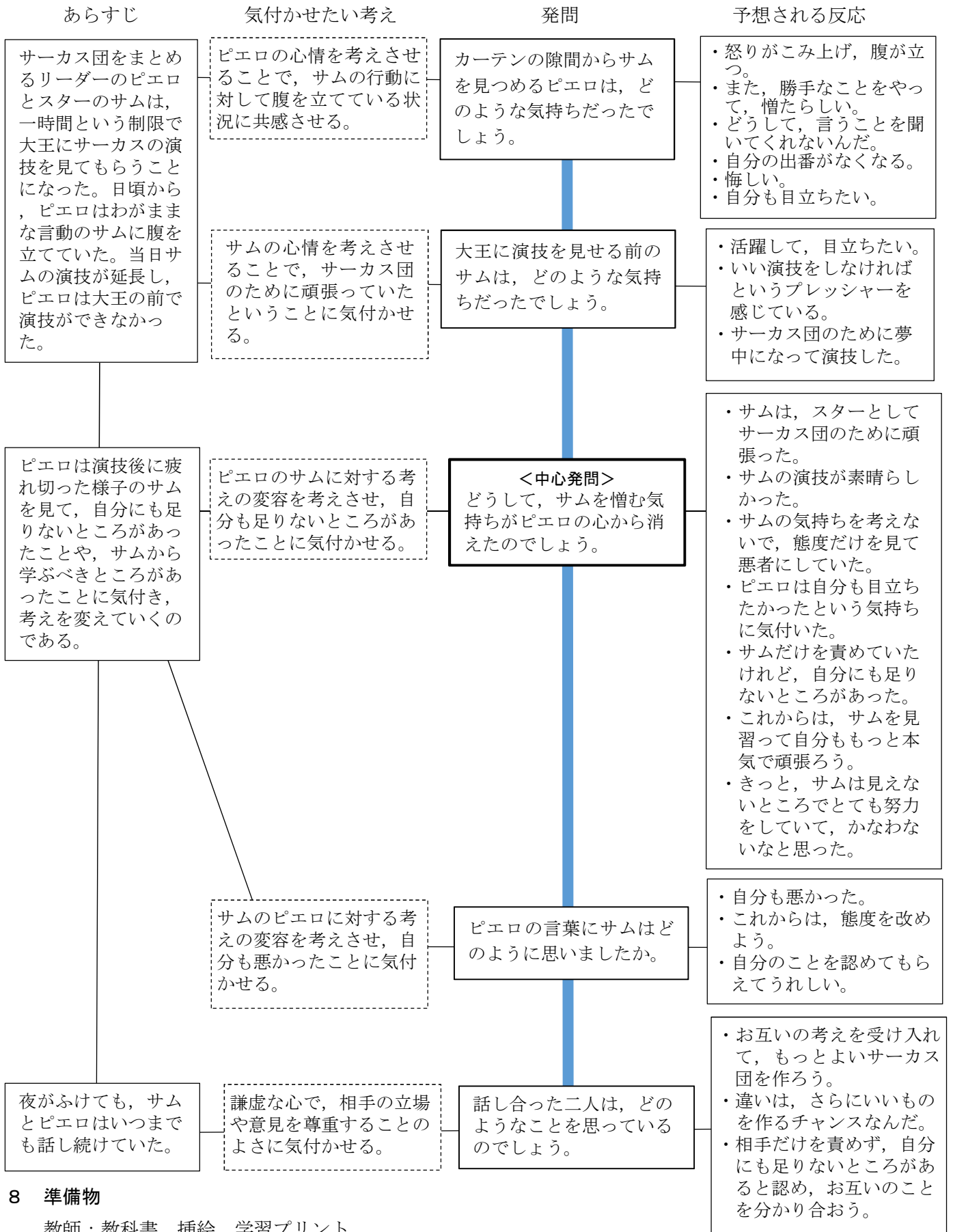
5 他の教育活動との関連



6 補充・深化・統合の視点【統合】

本時では、相手の立場や意見を尊重することについて考えさせるだけでなく、謙虚な心を持つことの大切さに気付かせる授業である。謙虚な心を持ち、相手の立場や意見を尊重することについて考えることで、自分にも足りないところがあることに気付く。そして、相手から学ぶ姿勢を持つことで、自分とは異なる意見を受け止めることができるようになり、よりよい人間関係を築くことにつながる。そのためには「親切、思いやり」「節度、節制」「友情、信頼」「公正、公平、社会正義」「規則の尊重」「よりよい学校生活、集団生活の充実」などの道徳的価値を確認し、相手の立場や意見を尊重することについて、捉え直すことができるようにする。

7 教材分析・発問構成



8 準備物

教師：教科書、挿絵、学習プリント

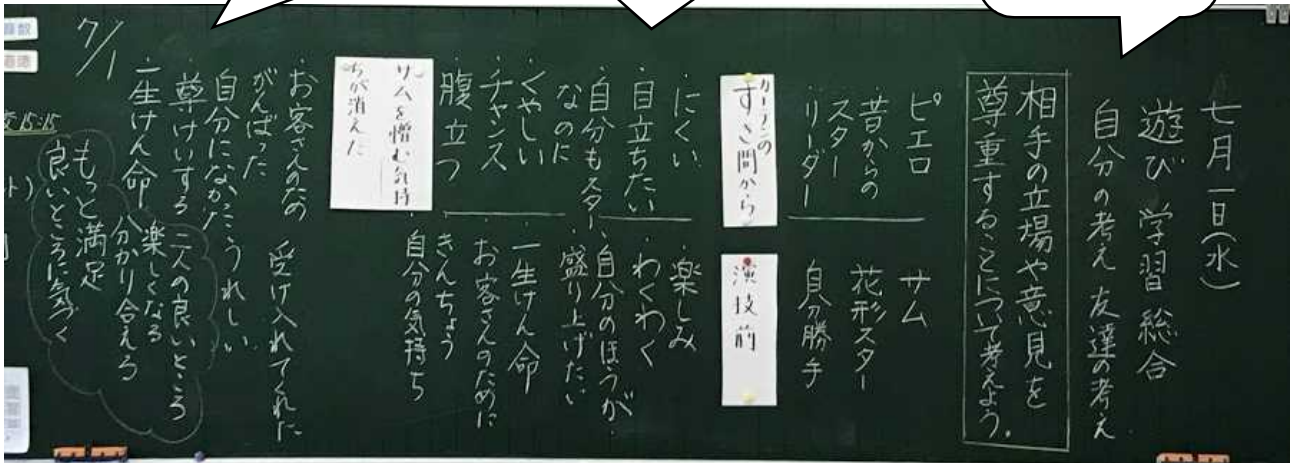
児童：筆記用具、道徳ノート

9 実践の記録 (○成果, ●課題)

終末に、自己の生き方を振り返ることができるよう、考えを黒板に残しておく。

ピエロとサム、それぞれの立場に共感しながら考えるため、上下段を活用した。

児童に問題意識を持たせるために身近な問題を取り上げた。



(1) 導入

問題意識を持たせる

- ねらいとする道徳的価値について実態を再確認するために、これまで友達と意見や考えが違って困った場面を想起させ、自分の考えと友達の考えどちらを大切にしたいか考えさせた。

実際のやり取り

- T 「相手の考えと自分の考えどちらを大切にしたいですか」
- C 「・・・」
- T 「それでは、顔を伏せどちらかに挙手をしてください」
- T 「自分の考えを大切にしたい人？」
- C (挙手3人)
- T 「相手の考えを大切にしたい人？」
- C (挙手5人)
- T 「相手の考えも自分の考えもどちらも大切ですよね。これから、生活していく場面で、このように自分と考えが違う人たちに出会ったときに、自分の考えを大切にしつつ、相手の立場や意見を尊重するとはどういうことなのか、一緒に考えていきましょう」
- C (うなづく)

児童に選択させてから、どちらが正しいのではなく、これから違う考えの人と出会ったときに、自分の考えを大切にしながら、相手の立場や意見を尊重するには、どうしたらよいかを一緒に考えるということを伝えることで、本時のねらいとする道徳的価値に関する問題意識を持たせることができた。

(2) 展開

自分との関わりで考えさせるために、問い返しをした

○ 中心発問では、『どうして、サムを憎む気持ちがピエロの心から消えたのでしょうか』ということについて考えさせた。ピエロが、サムに対して腹を立てていることに「ピエロの気持ちは理解できますか」と共感させ、では、なぜ憎む気持ちが消えたのか考えさせると、「サムは頑張っていたから」「お客さんのために、頑張ったから」という考えが出てきた。そこで、「自分だったら、サムが頑張っている姿を見れば、怒りが消えますか」と問い返すと、「それは、消えない」「許せない」といった考えが出てきた。「では、なぜピエロから憎む気持ちが消えたのだろう」と問い、友達と話し合わせた。児童からは、「サムを尊敬したから」「自分はそこまで頑張っていないことに気付いた」「自分には、そこまでの気持ちがなかった」と、ピエロが、自分も至らなかったことに気付いて、サムの姿勢から学ぶという謙虚な気持ちがあったことに気付かせることができた。

多面的・多角的に考えさせた

○ ピエロだけでなく、サムの心情の変化を考えさせることで、相手の立場や意見を尊重することの大切さについて、多面的・多角的に考えさせた。サムの立場からも考えることで、サムは自分勝手だったわけではなく、サーカスのお客さんを喜ばせるために、一生懸命演技していたことに気付かせることができ、ピエロとサムがお互いに分かり合うことで、もっと満足する、もっと良いサーカス団になるという考えが出された。

(3) 終末

自己の生き方について考えさせるために書く活動を取り入れた

○ これまでの自分を振り返り、今日の学習を通して考えた、相手の立場や意見を尊重することについて、自分の考えを書かせた。

児童感想

- ・「2人の良いところ」という〇〇さんの意見を聞いて、他にはないようなサーカスが出来るといいなと思ったし、相手の気持ちを分かり合うことが大切だと思いました。
- ・最初から、腹を立てたりするのではなく、その人は、どのように頑張りたいかや、どんな考えを持っているかなどを聞いて、個人個人の意見を尊重させることが大切だと思った。
- ・自分と友達の意見がわれてしまったりしても、自分には思いつかなかったことを言ってくれたりするから、たがいにおぎない合うことができると思いました。これから、友達と接するときには、自分の意見も大切に、友達の意見も大切にしたいと思いました。
- ・これからは、相手の気持ちと自分の気持ちをしっかり分かってから、意見を言ったり、聞いたりしていきたい。(誤解のないように)
- ・相手の意見にも耳を傾けようと思った。自分、自分ではなく、みんなの意見を取り入れて、もっと良い考えがでると思った。
- ・もちろん自分の意見も大事だけど、相手の意見についても、自分で考えながら聞いてみたり、話し合ったりして、相手と分かり合えるようにしたい。
- ・どんなことがあっても、おたがいの考えを尊重する大切さが分かった。また、おたがいの意見を分かり合うことの大切さが分かった。今まで、自分は相手の意見を尊重しているつもりだったけど、これからは、おたがいの意見を尊重したいと思った。